

岡剣連第22号
令和2年3月吉日

岡山県下各剣道連盟会長 殿

一般財団法人 岡山県剣道連盟
会長 山本晋一郎
(公印省略)

剣道稽古中あるいは試合・審査中等に発生した重大事故の
報告について（お願い）

先般、全日本剣道連盟（以下「全剣連」という。）から、剣道の安全性を重んじ、「生涯剣道」を願う観点から、重大事故の発生に際し、その頻度、内容等を把握し、全剣連の医・科学委員会にて調査結果の分析を行い、対応策・予防策を策定することを目的とした情報収集を行うため、重大事故の届け出をするよう依頼がありました。

各剣道連盟におかれましては、重大事故が発生した場合、下記要領により速やかに岡山県剣道連盟（以下「岡剣連」という。）まで報告をお願いいたします。

記

1 報告対象事故（重大事故）

剣道の稽古あるいは試合・審査中等に起こった事故で、入院を要するもの、あるいは入院治療と同等の治療を受けた場合であり、次の6病態について報告してください。

- (1) 頭部あるいは頸部などの打撲による障害（脳震盪を含む）
- (2) 突きによる喉頭部を含む障害あるいはそれに起因する二次的障害
- (3) 竹刀の破損による眼外傷
- (4) 熱中症（救急入院となった場合）
- (5) アキレス腱などを含む腱断裂（入院となった場合）
- (6) その他の理由で入院以上の処置が必要だった場合（稽古中・試合中の脳卒中、心筋梗塞、心停止などで入院ないしは死亡した場合を含む。）

2 報告要領

(1) 速報

報告対象となる重大事故が発生した場合、直ちに岡剣連事務局へ電話による速報をお願いします。

なお、休日等で岡剣連事務局が閉局している場合は、岡剣連専務理事用の携帯電話（070-3789-6855）へ速報をお願いします。

(2) 本報告

ア 報告様式による報告

電話速報の後、岡剣連から各剣道連盟事務局へメール送付した報告様式「岡山県剣道連盟重大事故報告書」に必要事項を記載して岡剣連事務局へメール又はFAXで報告してください。

なお、報告書の作成に当たっては、全剣連から示された「全日本剣道連盟重

大事故報告システム報告項目入力サンプル」及び岡剣連からメール送付した「岡山県剣道連盟重大事故報告書（記載例）」を参考にしてください。

イ 報告期限

事故発生後、1週間以内に全剣連へ報告する必要があるため、事故発生か

ら

4日以内に岡剣連事務局へ報告してください。

ウ 報告遅延報告

特段の事由により、事故発生から4日以内に岡剣連事務局へ報告できない場合は、その旨を岡剣連事務局へ電話報告してください。

(3) 全剣連への報告

全剣連への報告は、各剣道連盟から報告された内容に基づいて、岡剣連事務局が「全日本剣道連盟重大事故報告フォーム」に入力して報告します。

3 添付書類等

- ① 「岡山県剣道連盟重大事故報告書」（岡剣連報告様式）
- ② 「岡山県剣道連盟重大事故報告書（記載例）」（岡剣連報告様式 記載例）
- ③ 「全日本剣道連盟重大事故報告システム報告項目入力サンプル」（全剣連通知）

以上

様式

岡山県剣道連盟重大事故報告書(記載例)

セクション	内 容	報告事項	報告内容
セクション1	報告者 プロフィール	メールアドレス	○○○○1234@docomo.ne.jp
		報 告 団 体	○○市剣道連盟
		報 告 者 氏 名	岡山 太郎
セクション2	事故カテゴリー	事故 カ テ ゴ リ ー	<input checked="" type="checkbox"/> 頭部あるいは頸部などの打撲による障害（脳震盪を含む） <input type="checkbox"/> 突きによる喉頭部を含む障害あるいはそれに起因する二次的障害 <input type="checkbox"/> 竹刀の破損による眼外傷 <input type="checkbox"/> 熱中症（救急入院となった場合） <input type="checkbox"/> アキレス腱などを含む腱断裂（入院となった場合） <input type="checkbox"/> その他の理由で入院以上の処置が必要だった場合（稽古中・試合中の脳中、心筋梗塞、心停止などで入院ないしは死亡した場合を含む）
			発 生 日
セクション3	事故発生 日時・場所	発 生 時 刻	10時30分
		発 生 場 所 ・ 施 設	○○体育館
		発 生 行 事	審査
		発 生 行 事 詳 細	○○地区段級審査会
		年 齢	14 歳
セクション4	破傷者/発症者	性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
		称 号	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 錬士 <input type="checkbox"/> 教士
		段 位	初段
セクション5	事故概要	発生状況(事故概要)	審査会において、二段審査中に女子生徒が面を打ち、これに対して男子生徒が防御をしながら体当たりをし、相手の喉から前胸部にかけて強く押した。そのとたんに女子生徒は仰向けに転倒し、後頭部を強打し、失神した。
		発 生 原 因	加害者が打突後に押したこと、しかもその押し方が喉から前胸部と高かったこと、などが原因と思われる。また、競技者の体力の違いも事故の発生に関与していた可能性も否定できない。
		受 傷 / 発 症 状 況	入院後には、すでに意識は回復していた。さらに、神経学的症状は認めず、CT検査及びMRI検査では脳挫傷、頭蓋骨骨折などの所見は認められず、脳震盪と診断された。
		対 応 状 況	転倒後、直ちに審査を中止し、転倒した者の面を外し、横臥させた。しかし、意識がもうろうとしており、さらに吐き気も訴えたため救急車を要請した。救急車によって○○病院に緊急入院となった。
		救 急 車 搬 送	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
		入 院	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
セクション6	保険	保険(内容、適用詳細)	審査会においてスポーツ障害保険に加入
		保 険 加 入	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
		保 険 適 用	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
セクション7	今後の対応	今後の対応・予防策	・打突時の体当たりは、両手で喉から前胸部を押すのではなく、両手を下げて体ごと押すように正しく指導する。 ・段審査の場合には、体力の違いなどを考慮して組み合わせを検討する。 ・脳震盪に対する啓発活動を行う。
セクション8	備考・その他	備考・その他報告事項	

様式

岡山県剣道連盟重大事故報告書

セクション	内 容	報告事項	報告内容		
セクション1	報告者 プロフィール	メールアドレス			
		報 告 団 体			
		報 告 者 氏 名			
セクション2	事故カテゴリー	事故 カ テ ゴ リ ー	<input type="checkbox"/> 頭部あるいは頸部などの打撲による障害（脳震盪を含む）		
			<input type="checkbox"/> 突きによる喉頭部を含む障害あるいはそれに起因する二次的障害		
セクション3	事故発生 日時・場所	発 生 日			
		発 生 時 刻			
		発 生 場 所 ・ 施 設			
		発 生 行 事			
		発 生 行 事 詳 細			
セクション4	破傷者/発症者	年 齢			
		性 別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	
		称 号	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 錬士	<input type="checkbox"/> 教士
		段 位			
セクション5	事故概要	発生状況(事故概要)			
		発 生 原 因			
		受 傷 / 発 症 状 況			
		対 応 状 況			
		救 急 車 搬 送	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し	
		入 院	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し	
セクション6	保険	保険(内容、適用詳細)	審査会においてスポーツ障害保険に加入		
		保 険 加 入	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し	
		保 険 適 用	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し	
セクション7	今後の対応	今後の対応・予防策			
セクション8	備考・その他	備考・その他報告事項			